



松原

学校通信まつばら 12月号
令和2年11月30日(第431号)

世田谷区立松原小学校
校長 尾上 佐智子
〒156-0043 世田谷区松原5-43-26
TEL 3322-0191 FAX 3322-4351
URL <http://school.setagaya.ed.jp./maba/>

題字は、彩の会 竹尾昭子先生にお書きいただきました。

ありがとうございました

副校長 久野 浩誉

2学期の大きな行事が無事終了したことに、まずはほっとしているところです。

10月の運動会については、梅丘中学校での、演目を限定しての開催となりました。さまざまな制約の中、今までにない形での実施となりましたが、一生懸命走り、踊る子どもたちの真剣な姿を保護者の方々にお見せすることができました。

そして学芸会が先月、終了しました。観客を入れず、YouTubeの限定配信のみという形での開催となりました。しかし子どもたちは表現する意欲を下げることなく、与えられた役になりきり、精一杯自分の役割を果たしました。限定配信の動画の視聴回数は、11月30日(月)9:00現在 3652回となっています。たくさんの方に観ていただくことを嬉しく思います。

保護者アンケートにおいては、どちらの行事についても温かい励ましの言葉をいただきました。この3か月、初めてのことばかりで、今まで以上の不安と緊張を抱えながら教員たちは指導を続けてきましたので、終わった後の、保護者の皆様からの一言一言が何より嬉しく、励みになりました。本当にありがとうございました。

さて12月です。12月はこの2学期を振り返り、じっくりと学習に集中させたいと考えています。学校行事から子どもたちが学ぶことはたくさんありますが、学校の基本はやはり授業にあります。コロナ禍で人数を限定することになりますが、これから3学期にかけ、学校公開期間を予定しています。短時間とはなりますが、子どもたちが誰とどのようにかかわり、どのような学びをしているのかをぜひご覧ください。そして、そんな学びの姿を通して改めて「学校の役割とは何か」を、保護者の皆様とともに考えたいと思っています。

12月の行事予定

- | | |
|---|---------------------------|
| 1日(火) クラブ活動なし 保護者会(3,4年) | 14日(月) 避難訓練 学校運営委員会 14:00 |
| 3日(木) 委員会・クラブ発表集会
保護者会(5,6年) | 15日(火) 短縄週間終 クラブ活動(6校時) |
| 4日(金) 保護者会(1,2年) | 17日(木) クラブ発表集会 |
| 7日(月) 全校朝会・避難訓練(朝会時) | 18日(金) なかよしタイム |
| 8日(火) 美術鑑賞教室(4年2組 4年3組)
クラブ活動(6校時) 安全指導日 | 19日(土) 土曜授業日・学校公開◎ |
| 9日(水) 美術鑑賞教室(4年1組) 教育長訪問 | 22日(火) クラブ活動なし |
| 10日(木) 児童集会 | 24日(木) 給食終 音楽鑑賞教室(5年) |
| 11日(金) 醤油もの知り博士出前授業3年 | 25日(金) 終業式 大掃除 B時程 |
| 12日(土) 土曜授業日 学校公開◎
避難所運営訓練 13:00~16:30 | 26日(木) ~1月7日(木) 冬季休業日 |
| | 1月8日(金) 始業式 4時間授業 B時程 |

【12月の生活目標】

<生活>後かたづけをきちんとしよう。

<保健>冬を健康にすごそう。

<給食>残さず食べよう。

【人格の完成を目指して】

12月のテーマ：『美化』

- ・みんなで協力し合って、すみずみまできれいにそうじしよう。
- ・みんなが使うところ(流し、図書室など)は、特にきれいに使おう。

クラブ・委員会活動

クラブ・委員会担当 谷野 香里

クラブ活動では、他学年との交流を楽しみながら、自主的に活動を進める活発な様子がみられます。生き生きと自分が興味をもった活動をしています。

委員会活動は、学校再開後6年生を中心に体制を整え活動を始めました。どの委員会も学校を支える大切な仕事です。委員会が動き始めて、やっと学校全体が動いてきたなと感じました。

クラブ・委員会活動ともに、全校児童の前での活動や発表を、テレビ放送にて行っています。学校生活をより楽しく豊かにするために、知恵を出し合い創意工夫しながら活動を続けています。

学芸会を終えて

学芸会委員長 細川 雄介

「運動会に負けるな」これは学芸会委員長としての私なりのスローガンでした。もちろん、勝負事として負けたくないわけではありません。あの素晴らしかった運動会と同じぐらい、子どもたちに「やってよかった」と思える達成感を感じてほしいという思いです。

今年は、テレビを通して、他学年の演技を鑑賞しました。テレビ画面を通してでも伝わってくる、全力の演技。演技後、「パチパチパチ！！」と学校中に響く拍手の音。「やりきった」という、清々しい表情で体育館から戻ってくる子どもたちの表情。松原小の廊下に掲示されている子どもたちの全学年の感想交流。子どもたちの中で、運動会に続いて「やってよかった」と思える行事になっているようです。学芸会委員長として、心から嬉しく思います。

学芸会雑感

事務主事 山口 隆寿

今年の学芸会は観客のいない異例なものでしたが、演じる児童たちは、とても頑張っていて、例年にも増して素晴らしいものでした。私も6年生の作品について語ると、いじめの問題等現在の社会を反映させており、ひ弱な都会の子が地方の転校先でいじめられてしまい、その地の座敷わらしたちに助けられ、人間的に成長していくとても感動的な作品でした。見た人間を幸せにする座敷わらしの登場は、この作品に心の温かさを感じさせました。また、作品の中でチームスポーツ等に使われる「一人はみんなのために、みんなは一人のために」という有名な一節を6年生が歌っていましたが、学校等社会生活にとっても大切な概念だと思います。学芸会の中では、一人ひとりの役割はみんなそれぞれ違いますが、私には児童の皆さんの一人ひとりがみんな立派な主役であると思えた学芸会でした。